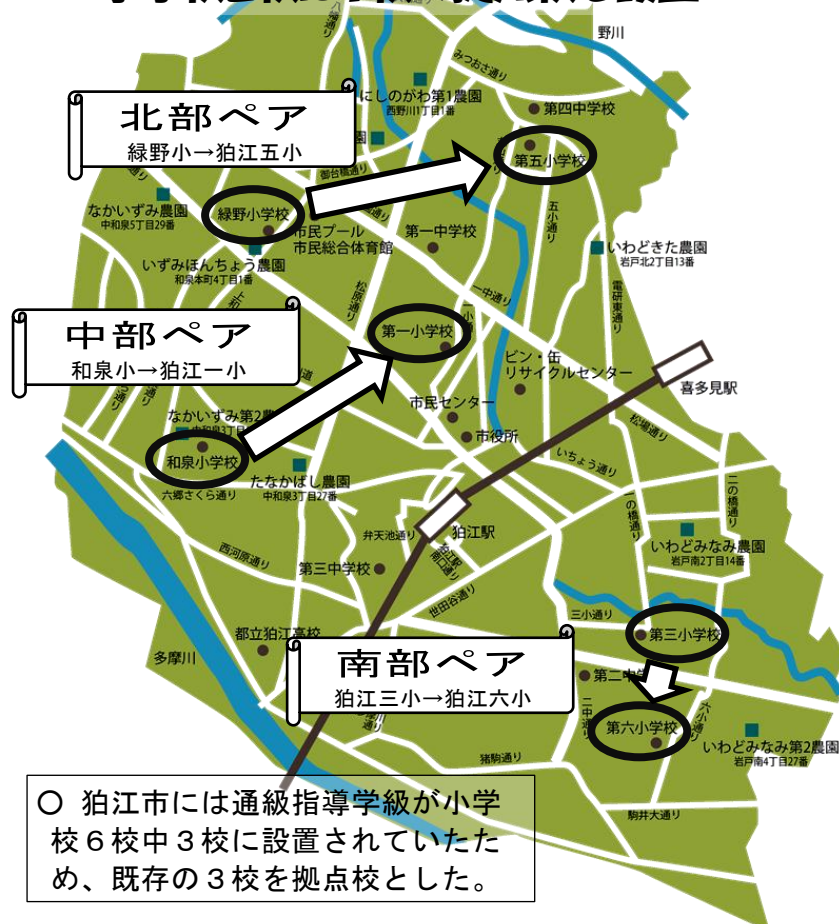


狛江市の特別支援教育についてー特別支援教室ー

I 特別支援教室「狛江市モデル」

★ 小学校2校に1校の拠点校を設置



◇ 「特別支援教室モデル事業」について

平成24年度から平成26年度までの3年間、東京都教育委員会からモデル地域の指定を受け、特別支援教室「狛江市モデル」としてペアによる巡回指導の試行、入・退級判定システムの構築等を行い、東京都教育委員会に提案した。

◇ 特別支援教室の実際について

- 施設、設備
 - ・ 普通教室をパーティションで分割[狛江五小、狛江六小]
 - ・ 特別支援教室用の教室を増築[狛江一小]
- 教材・教具
 - ・ 拠点校用と巡回指導校用の2セットを準備
 - ・ 不足する教材等は拠点校のものを持ち運び使用
- 指導内容
 - ・ 個別指導、小集団指導（原則拠点校と同様）
- 巡回指導校教員との協働
 - ・ 巡回指導校の職員室に机を用意（PCの共用）
 - ・ 巡回指導校の校内委員会、研修会等への参加
- 教員の勤務
 - ・ 拠点校と巡回指導校との兼務発令
 - ・ 勤務の形態はペアの実態に合わせて工夫（曜日、時間帯、教員で勤務校を分ける等）

◇ 特別支援教室における指導の様子



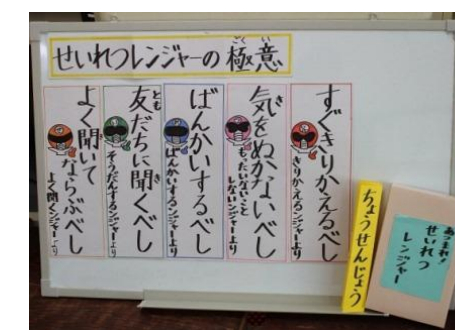
五小ふたば教室
（小集団指導）



一小けやき教室
（小集団指導）



六小ひまわり教室
（個別指導）



社会適応能力を身に付けるための教材例

II 成果(◎)と課題(◆)

◎ 通級利用児童数の増加(利用児童の割合)

平成23年度…59人(1.86%)

平成27年度…123人(3.82%) [5月1日現在]

◎ 特別支援教育への理解の促進

- ・ 教員、保護者、児童の理解が促進

◎ 保護者の負担減

- ・ 児童の送迎が不要

◎ 児童の負担減

- ・ 移動時間がなくなったため、在籍学級での授業進度の心配が軽減

◎ 在籍校(学級)との連携強化

- ・ 在籍学級担任との情報交換が促進

◆ 指導内容・形態の工夫

- ・ 個別指導と小集団指導の必要時数の適切な設定

◆ 入・退級判定システムの運用

- ・ 判定基準の明確化

◆ 専門性の高い教員の育成

- ・ 全ての教員の一層のスキルアップ

◆ 校務分掌の遂行

- ・ 巡回指導教員の巡回校における執務環境の整備

◆ 中学校への円滑な接続

- ・ 中学校における巡回指導の実施

III 今後の取組

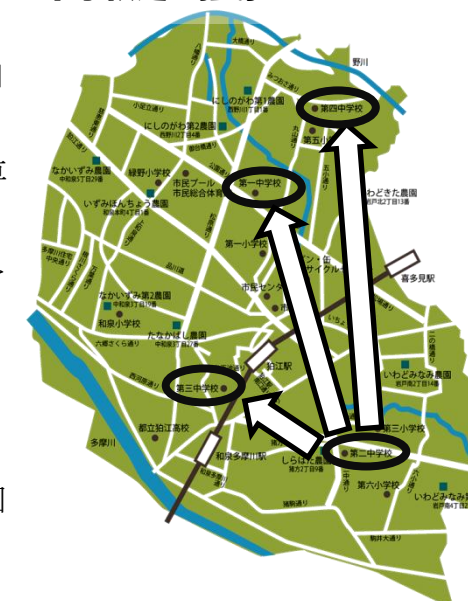
◇ 小学校

- 平成28年度以降も全校で「特別支援教室」として指導を継続
 - ・ 通常の教員配置に加え「特別支援教室専門員」を各校に1名ずつ配置
 - ・ 「臨床発達心理士等」による巡回相談を各校に1名ずつ、年10回派遣

◇ 中学校

- 平成28年度から、狛江二中を拠点校として、狛江一中、狛江三中、狛江四中への巡回指導(特別支援教室の設置)を試行実施

中学校巡回指導のイメージ



小さな狛江市から大きく発信



えだまめ王子